



春よ来い!

3月、季節は春を迎えました。しかし、厳しい寒さがまだまだ続いています。本当の「春」は、もう少し先になりそうです。

そんな中、先日、立志ラリーを行った2年生が、立志記念植樹として、校庭に桜の木を植えました。以前は紫雲出山に植えていましたが、昨年から校内に植えることになり、今年も8本の桜を植えました。この桜が咲くのはまだまだ先のことですが、そのとき、みなさんはどんな大人になっているのでしょうか。

また、1・2年生が学年末テストで早く帰った日、毎年3年生が楽しみにしている恒例の「バイキング給食」がありました。調理員さんが3年生のためにと、朝早くから何種類ものメニューを用意してくださいました。最後にまた一つ、給食のいい思い出ができましたね。このように、みなさんのまわりのすべての人が応援してくれています。あとは、自分自身の力でしっかりと春を呼び込んでください。

♪ 春よ 遠き春よ まぶた閉じればそこに 愛をくれし君の
なつかしき声がする~ (『春よ、来い』松任谷由実)



学校評価委員会

学校評議員や体育後援会会長、PTA会長、PTA学年会長、小学校の校長先生などに出席していただき、中学校の取り組みを評価していただく会です。本年度は、10月19日と2月23日の2回開催しました。その中でいただいたご意見や感想の一部を紹介します。

- ・ 体育祭が雨天順延により平日実施になったのは残念だが、春に体育祭をしたのはとてもよかった。
- ・ 体育祭で先生方の団結力を感じた。生徒と共に取り組んでいる絆を感じ、とてもさわやかだった。
- ・ 地域で見かける子どもたちのあいさつの声が小さい生徒が気になる。
- ・ 朝、交通指導を行っている時、松崎方面から来る生徒が大きな声であいさつをしてくれて気持ちいい。
- ・ タートルノートのページ数は多いが、内容が伴っていないと感じる。ノートの取り方について指導いただくと、量だけでなく質も高まると思う。また、保護者が時々ノートを見てやることも大切だと思う。
- ・ 学校の先生方は一生懸命やってくれているとありがたいと思う。地域の教育力を生かすためにも、地域や家庭がもっとしっかりしないといけない。
- ・ 学校と家庭との連携が大切だと思う。もっと父親の姿が見られたらいいと思う。
- ・ 大人が携帯電話をしながら車を運転している姿を子どもは見ている。大人が規範意識を示すことが大切である。保護者への啓発が必要である。
- ・ 中学校では、学校生活の中で部活動の占める割合が大きいのと思うので、保護者評価、生徒評価、教職員評価ともに、部活動に関する評価が高くなっているのはありがたい。
- ・ 教職員評価で「職場の雰囲気がいい」の項目が最も高いのがすばらしい。先生方の仲のよさが生徒たちにもいい影響を及ぼすと感じる。

インターンシップ

インターンシップとは、産業の現場などで、生徒が在学中に自分の学習内容や進路などに関連した就業体験をすることです。来週一週間、このインターンシップとして、本校卒業生の斉藤恵子さんが来られます。斉藤さんは、現在大学4年生で、この4月から先生になることが決まっています。4月から“斉藤先生”としていいスタートを切るためにも、母校でたくさんの経験をしてほしいと願っています。